

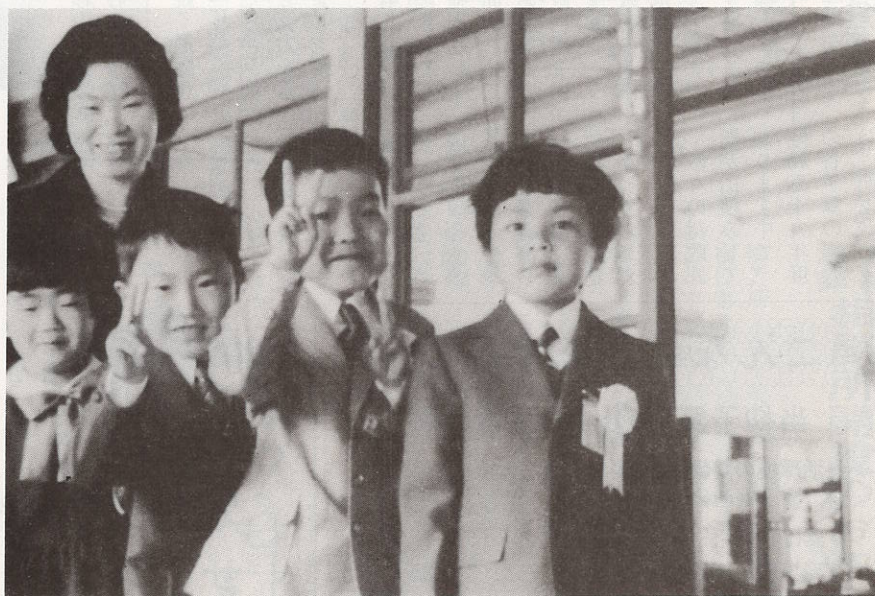


広報みさき

町の規模		
世帯数	1,926戸	前月比 (-20)
人口	5,720人	(-108)
男	2,654人	(-45)
女	3,066人	(-63)
(昭和59年3月31日現在)		

昭和59年4月20日 No.109
 発行 愛媛県西宇和郡三崎町 印刷 佐川印刷 KK
 三崎町役場 4-1111 北宇和郡吉田町北小路
 編集 総務課 ☎ (08955) 2-0600

Vサインで喜びの名取小1年生 6年間仲良くね



今日から ピッカピッカの1年生

晴れの入学式が、四月九日、町内各小学校で催されました。新入生をもつ家庭では、子どもより親の方が期待に胸をふくらませ、いまかくと待ちどおしい日々を過ごしたはず。保護者の感激を尻目に、活発な1年生。

校長先生も目を細めるばかり。

「昨夜は、よく眠れましたか、歯を磨きましたか、顔をよく洗いましたか。」と梶原PTA会長。

臆せずに答える元気な声。「ハ——イ」

❀ご入学おめでとう❀

過疎化の波に 児童数急減の小学校

校舎の老朽化で、望まれる安全対策と、今後どう進展するか学校統合問題。

よりよい教育環境で、すばらしい人間形成を望みますが、町内各小学校の抱える悩みは、共通している様子。

それにしても、少人数学級や複式学級の目立つこの教育現場。

マン・ツウ・マン方式で対抗のへき地校教育。

親も教師も行政も、この問題を克服すべく、三者一体となつて、進展を見たいものです。(名取小にて取材)



晴れの入学式に臨む三崎小1年生

歳時記

つくし

「佐保姫の筆か」とぞ見る
 つくつくし 雪かき分くる春の
 けしきは——と藤原為家の歌
 にあります(夫木和歌抄) 佐保
 姫とは、春を司る女神。
 つくしは昔、つくづくしとも
 いつていたようです。
 早春、筆に似たかわいらしい
 姿をみせるつくしには昔の人も
 心をひかれたのでしょうか。
 つくしだれの子

「すぎなの子」
 と思っている人もいるようです
 が、つくしとすぎなは親子とい
 うより、兄弟といったほうがい
 りようです。
 つくしはすぎなの地下茎から
 出る胞子茎で、すぎなは栄養茎
 に当たるものです。

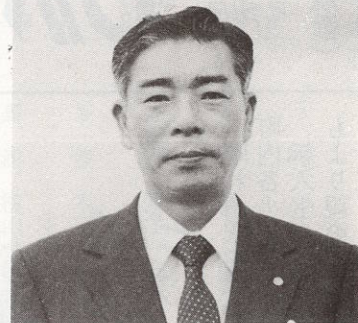
つくしの語源ははつきりしま
 せんが、山形県の庄内地方など
 で杭のことをつくしというのと
 関係があるのかもしれない。
 つくしは、おひたし、からし
 和え、つくし飯などにして食べ
 ます。茶わん蒸しにも入れます。
 また、子供のころ、つくしをは
 かまのところで切つて、またつ
 ないで「どこ継いだ？」と当てつ
 こして遊んだ記憶をお持ちの方
 もいると思います。



決意も新た 59年度所信表明 3/7

課題解決に今後も努力

豊かなふるさとづくりを目指して



三月定例議会で、杉山町長は昭和五十九年度に臨む方針を表明。

町長就任当時から続く過疎化傾向の歯止めにも真剣に取り組み、難問山積の町政を乗り切る姿勢を述べ、理解と協力を求めました。そのあらましを紹介いたします。

先に発足しました第二次中曾根内閣で総理は、国際人としての日本の国づくりを強調されております。又、内政面においては三つの柱を樹てております。即ち、行政改革・財政再建・並びに教育改革であります。

殊に、第三の柱、教育の改革には、相当な熱意を示され、まさに「時は金なり、国は人なり」と強く訴えております。

三崎町の目下の目標もまさにそれで、平和で民主的、たくましい地域に根ざした産業をおこし、文化的で豊かなふるさとづくりに取り組むことと目指して

くりと人づくりに取り組みたいと思えます。

しかし、本町を取り巻く環境は、決して安易なものではありません。基幹産業の柑橘農業の動向も、不安材料の一つであります。心を通じるのは、人口の漸減と高齢化傾向です。例えば、この九年間で、十八歳までの若者の流出は千二十名、十八歳～六十五歳の青壮年層で四百四十二名の計千四百六十二名が流出し、逆に、六十五歳以上が六十二名の増となっております。

足腰の強い地域産業の育成のため、永年にわたり農漁業の基盤整備に取り組み、町財政の大半を投資し、それなりの実績を挙げたと評価しておりますが、過疎化傾向の顕著化は、今や本町の産業経済や文化の基盤をも揺がす程の問題となっております。

数々の行政課題が山積みしております中で、昭和五十九年度の各予算の編成は、町財政の支

柱たる地方交付税が二年続きの減額という厳しい状況であります。

しかし、私たちは、継続事業をはじめ、広域消防業務の開始、南予用水事業を受けての本格的な水道整備事業、町立学校の危険老朽校舎の補修・補強、高額療養費対策、地域改善事業等をはじめとして、地域振興、福祉

の向上、教育の推進、民生の安定を目指して、ひるむことなく、この難局を乗り切りたいと存ずる次第です。(以上、町長表明) 本定例会は、五十九年度の各会計毎の当初予算八件の他合計十五議案を議会に提出、三月八日、全議案を可決し、議会を閉じました。

会計別予算規模(歳出)

会計別	予算額	対前年度伸び率%		
一般会計	14億6,819万7千円	100.7		
特別会計	国民健康保険	4億7,775万9千円	105.6	
	事業設定	5億4,681万円	102.2	
	老人保健	3億7,521万5千円	95.7	
	港湾整備	241万6千円	98.7	
	旅客上屋	190万9千円	100.0	
	土地取得	827万6千円	119.6	
	住宅新築資金等貸付事業	9万円	98.9	
	(合計)	14億1,247万5千円	101.6	
	企業会計	簡易水道	4,915万5千円	94.0
		収益的支出	1,337万9千円	266.4
資本的支出		6,253万4千円	109.1	
(合計)	6,253万4千円	109.1		
総計	29億4,320万6千円	101.3		

こんな事業を進めます

当初予算(歳出)の主な事業

★生活環境の整備

- 三崎・井野浦線改良他……………3, 585万円
- 農村地域定住促進対策(半田農道)…5, 848万円
- 環境衛生施設……………316万9千円

★町民福祉の向上

- 国民健康保険……………10億2, 456万9千円
- 老人健康……………3億7, 521万5千円
- 母子家庭医療費……………300万円
- 児童手当……………1, 478万4千円

★消防の充実

- 八幡浜地区施設事務組合負担金…4, 383万5千円
- 非常備消防費……………2, 002万6千円

★地場産業の振興

- 農村基盤総合整備(松中央線)…3, 538万円
- 三崎(与侈)漁港改修……………5, 205万円
- 明神(二名津)漁港改修……………5, 205万円
- 農道基盤整備償還金……………1, 540万7千円
- 天災資金農業近代化資金利子補給…387万円
- 漁業近代化資金利子補給……………148万3千円

★教育文化の振興

- 申中学校改築工事……………1, 072万2千円
- 小中学校整備……………2, 290万円

保育園保母

ただいま募集中

町は、つぎのとおり保母を募集します。

◎採用職種・募集人員
保母……………一名

◎応募資格

①昭和五十九年四月一日現在満二十五歳以下の独身女性で保母資格を有する者。

②日本国籍を有し、本人又は家族が一年以上本町に居住し、採用後町内に居住できる者。

◎試験の内容

専門、一般科目、作文、面接

◎応募要領
市販の履歴書に写真を添付し、保母資格証(写)を添え、

総務課にある職員採用試験申込書と身体検査証(公立診療所)病院で受検のもの)を昭和五十九年五月十六日までに総務課管理係に提出して下さい。(郵送は五月十六日必着のこと)

◎その他

採用試験日：昭和五十九年五月下旬
採用期日

昭和五十九年七月一日付で採用予定。

詳しくは、総務課管理係へお問い合わせ下さい。

☎四一一一一(内線二三番)

明日への提言

三崎 清家 岩雄



観光開発

昭和六十二年に待望の国道バイパスが完成するという。私は四十年頃、愛媛、大分両県をあげての陳情の際、両県出身の国会議員、両県知事関係市町村長のお供をして度々上京した。当時の河野一郎建設大臣や橋本登美三郎運輸大臣に陳情した時の印象が頭に焼きついている。四十五年に国道九四フェリーが就航し、三崎・佐賀関両町の発展に大きな貢献をしている。しかし、予期されたような成果はあがっていない。バイパスの完成により人と車の流れは飛躍的に増大するだろう。今こそ町をあげてその対策を打ち出すべき時である。知事は三月の県議会で佐田岬半島まで南レクに編入するビジョンを掲げ、将来は脇川流域も開発したいと答弁している。一日も早く実現を望み

い。しかし他力本願であつてはならない。自らの努力が必要である。行政・経済団体は当然ながら、町をあげて英知を結集して取り組むべきであろう。先日の愛媛新聞に、脇川町が特産品の開発センターを開設したと報じていた。百分町出資の地方公社で、特産品の加工場、販売店、食堂も備えて、観光の拠点になるという。私は官民一体の拠点造りが必要と思う。今、三崎町にどんな構想があるのだろうか。



文化財保護と老人対策

私は今、檀家千二百戸をもつ傳宗寺と本町の或地区の老人クラブのお世話をさせて貰っている。そして、寺の本堂、庫裏の修築事業に取り組んでいる。本堂は百六十年前、私たちの祖先が六十年の歳月と、はかりしれない犠牲をはらって、建立した。何ものにも替え難い尊い遺産であり、町指定の有形文化財である。これを修復して、今後、百年も二百年も私たちの子孫に継承するのが私たちの義務だと

考えている。数少ない町の有形文化財の維持保存に格別の対策を樹てて欲しい。四年前私は寺内の約十アールの夏柑園と塵埃の捨場にもなっていた周辺をどう整備したらいいか考えた。そして総会の決議を得て町当局へ種々な制度の導入をお願いした。平坦地は小公園に、斜面は一部墓地造成し修築資金の獲得を図り、残地は老人クラブのメニウ事業や緑化推進事業等によって花木を植栽した。本町の方々や老人クラブの奉仕によつてあと数年もすれば立派な老人クラブや町民の憩いの場となる。それを夢みて完成に努力したい。今、三崎町人口六千人の内高齢人口（六十五歳以上）千三百人余。昭和九十五年に国が予測する人口構成だ。嬉ばしい先取りでない。老人クラブの会員は、一家の荷ない手としてただ、働く事に生きがいを感じて働き続けている。今すこし、心身にゆとりのある施設施設はできないのだろうか。高齢化社会に対する積極施策が望ましい。

地場産業の振興



かつて、夏柑の転換になにをやつたらいいか、たびたび県庁で会議をもつたことがある。私は、三崎町農協は新甘夏をやりたいと言ったが、誰一人賛意を表する人はなく、新甘夏そのものを識らない担当者もいた。組合員の力で全国に先駆けて導入し、そして全国一の産地になった。今、全国農民の悲願も空しくオレンジと牛肉の輸入枠拡大が決定した。しかし、適地適産のものをやすやすと、駆逐させてはならない。規模拡大や合理化、複合経営どれ一つとつても容易ではない。レモンの自由化によつて壊滅したレモン産地が今、青いレモンとして蘇りつつある産地もある。自信とある程度の冒険も必要だろう。生き残れる産地だと私は夢みている。

瀬戸町の知人が、「ワカメの養殖を少しやっているといい手間賃になる。」と言っていた。私は漁業関係のことは解らない。三崎でできる栽培漁業はないのだろうか。ワカメやヒジキの加工は採算がとれないのだろうか。農海産物を主体にした一・五次産業の開発はできないのだろうか。ここ数年、広島県方面の漁船がよく入港している。地元漁業者と、一部トラブルもあると聞

くが、反面、町経済にも大きく貢献している。協調を保ちながら、彼等に憩いの場や船溜等の整備も考慮したいものだ。今年の一月だったか朝日新聞の投書欄に静岡県K町の「ふるさと町民」制度のことがでていた。他郷に居住する町出身者に、年間いくらかの会費を徴収し、町広報と特産物を贈って交流を深め町経済にも貢献して貰っているという。脇川町の場合は町外の人を対象に年二万円の会費で四回特産品を贈り、観光に招待し種々特典を与えるようだ。町出身者には各地区に「ふるさと脇川会」の結成を呼びかけているとか。大分県の一村一品運動も盛り込んだ脇川町が、三崎町の町づくりの参考ににならないだろうか。

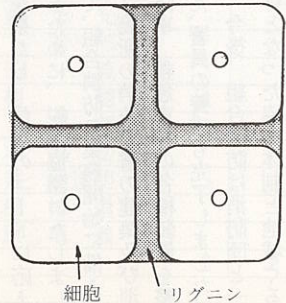
三崎町商工業振興協議会の地域問題懇談会の講演者が「町民の居住満足度は、町の種々な行事等に参画しているかどうかによって決まる。」と話しておられた。大洲市は将来のビジョン造りに大洲市百人委員会を組織したり、市民を対象にしたアンケート調査を実施している。昨年八西地区で開いたシンポジウムを三崎で開いたらどうだろうか。オリンピックは参加することに意義があるといわれ以上

町内在住21名の方々に寄稿を依頼しました。今回より連載します。あなたのご意見がありましたら編集室へご連絡ください。

なるほど・ザ・木材 ①

「樹木はなぜ巨体を保持し長寿を保てるか」

樹木はなぜ巨体を保持し長寿を保っているのでしょうか。それはリグニンという物質のおかげです。この聞きなれない物質は元来植物にとつて有害な排出物でしたが、植物が進化の過程で水中生活から陸上生活になると、そのとき水中に排出していたものを体内にとりこんだ上、無毒化するという絶妙な処理をやつてのけたのです。この体内にとりこまれたリグニンは木材セニを構成する細胞壁にセメントを塗り固めたようにピシリとはりつき接着剤の役目を果たし、これが樹木全体を極めて強固な、そして長生きする性質をもつこととしたのです。



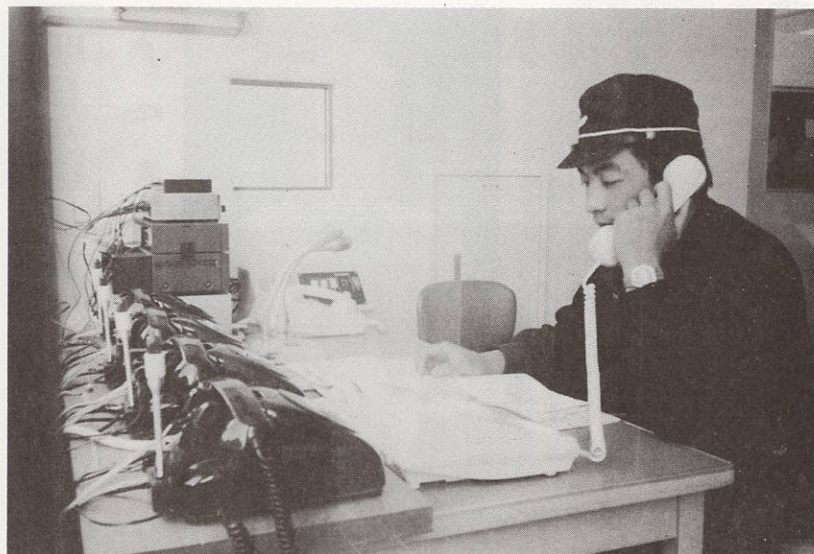
広域防災体制

準備整いいざ出動

4月1日から

スタートしました

火事も救急も「一一九」番へが整い、去る四月一日からスタートしました。昨年の四月から業務開始に整えておりました八幡浜市と西宇和郡五町による広域常備消防も、施設整備や職員の養成など



「ハイ、こちら119番」緊急感みなぎる第1分署指令室

都市化に備える 消防力と救急業務

三崎町では、従前より消防団が日夜町民の生命財産を守っておりですが、近年、生活様式の変化や住宅構造の変化に伴ない災害の要因は多種多様化しております。

又、災害発生時の危険性がいたるところに存在するなど、警防・予防・救助全般にわたる広域的な防災体制の整備が急がれていました。

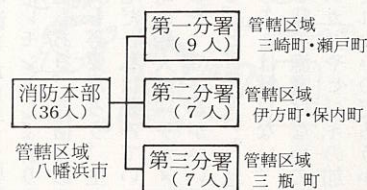
そこで、本町を含む西宇和郡五町と八幡浜市が協議の上、準備を進め、従前から運営しておりました八西施設事務組合（特別養護老人ホームと伝染病隔離病舎の事務）に広域消防及び休日夜間急患センター事務を加えた八幡浜地区施設事務組合を昭和五十八年四月に設立し、その業務開始が本年四月一日からスタートしました。

本町は第一分署の管轄

この広域防災体制の組織は、八幡浜市に消防本部を置き、郡内三箇所に分署が設けられました。分署の内訳は、三崎町と瀬戸町に第一分署、伊方町と保内町に第二分署、三瓶町に第三分署が置かれ、本部には職員三十六人、分署にはスタート時点で分署長以下九人を配置。

当初は救急業務が主体となり、昭和六十一年十月頃には一分署当り十三人程度となる予定です。

広域消防組織表 4月1日現在



広域常備消防の 業務開始にあたり

このたび、一市五町の地域住民の皆様が待望されてきました

「おまかせください」

火事と救急



完成した第1分署（瀬戸町神崎）



八幡浜地区施設事務組合
消防長 菊池 正善

広域消防体制が、4月1日から発足するはこびとなりました。このことは、関係各位及び地域住民の皆様のご理解とご協力によることご同慶にたえません。

さて、近年の消防をとりまく社会環境は、都市構造の変化並びに危険物の増加、更には住民の生活様式の変化等が相俟って、災害の要因は複雑多様化するともに災害発生時の危険性

消防団と

二人三脚

第一分署は、現在、分署長以下九人。毎日四人ずつの二交替制で、二十四時間体制をとり、住民の生命財産を守ることになっていきますが、出動人員は、電話連絡番のために一人残留し、三人の出動体制となります。

三人の出動体制では、十分といえず、しばらくは救急業務が主。したがって、救急業務で出動

は、いたる所に存在しており、警防、予防、救急、救助全般にわたる防災体制のより一層の整備促進が急務であります。

このため、県及び各市町村関係機関におきまして、その責務を果たし、住民のニーズにこたえるために、鋭意協議いたしました。今後、組合消防は消防団と一体となった協力体制と地域ぐるみの支援のもとに、地域住民の生活の安全確保と、明るくて住みよい地域づくりを目指し、積極的に取り組んでまいります。

皆様におかれましても一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

中に火災が発生したような場合には、分署のポンプ車の出動だけでは、不十分な場合もあります。消火活動は、今までどおり、消防団が中心で、現場の指揮も消防団です。

「一一九」で 第一分署に直通

火事も救急も局番なしの「一一九」におかけください。通報は、分署に直通し、分署から専用電話で役場（消防団）へ連絡する体制となります。



キビキビと急患に備える模擬訓練

の状況などを落ち着いて正確に通報してください。具体的には、次ぎのとおりです。(救急業務を主体に説明します)

「一一九」番通報の注意

一一九番を回す前に

- 救急車が本当に必要なかどうか。
- 次の場合は、救急車の利用を見合わせてください。
 - 緊急に運ぶ必要がない時
 - 酒を飲んで酔っているだけの時

一一九番が通じたら

- 救急と火災の区別(一一九番は救急車を呼ぶためだけにありません)
- 来てほしい場所、その目標となる建物
- 事故や病気の種類
- 患者の数、年齢、性別
- 患者の容態(意識や呼吸があるかどうか)

救急車がくるまでは

- 必要な応急手当を続ける。(人工呼吸等)
- 救急車を誘導するため、表通りで待機する。

急患の搬送順序は

救急患者の搬送は、分署が行います。まず、近くの病院を救急隊員が(受け入れ許可を得て)指定して運びます。そこで、医者からの指示にもとずき、必要があれば他の病院(例えば、八幡浜市立総合病院等)へ搬送する順序となります。

したがって、救急患者等が、病院を指定することはできません。

第一分署からのお願い

業務開始から間がないため、しばらくは地理に不案内です。火事も救急も、途中で電話を切らず、相手が了解するまでお待ちください。

火事や事故を発見したら「一一九」へ通報してください。

消防自動車や救急車が一刻も早く現場に到着し、効果的な活動をするためには「正確な通報」が一番です。

場所・目撃物・火事や負傷者

事前連絡は

08945 (市外局番)
3 (瀬戸町)
0311へ (第一分署)



- 次の場合は、事前に第一分署へ連絡してください。
 - 火災と紛らわしい煙を出すとき(枯枝の焼却等)
 - 水道断水(消水栓の使用に支障をきたすため)
 - 消防車、救急車の運行に支障のある道路工事等

住民の期待を にんたて

行政と地域住民総ぐるみの自主防災体制の確立を図るため、広域常備消防がスタートしても、本町の消防団は今までも活動します。

4月2日付けで、次の体制(消防団幹部)となりましたのでお知らせします。



就任の上田団長

昭和59年度三崎町消防団幹部

役職	氏名	消防ポンプ車	小型動力車	積載車	団員
団長	上田 松彦				本部 4
副団長	宮平 尾長				
副団長	桜井 正司				
副団長	井上 幾太郎				
第一分署長	東長 西長	1	2	2	40
第二分署長	中村 輝雄		3	1	28
第三分署長	高田 正正		1	1	12
第四分署長	門田 光満		1	1	10
第五分署長	三浦 秀洋		1	1	12
第六分署長	山本 治洋		1	1	14
第七分署長	伊藤 忠光		2	1	20
第八分署長	山下 音次郎		2	1	24
第九分署長	堀田 一義		2	1	24
第十分署長	田村 三聡	1	2	1	36
第十一分署長	山川 為松		2	1	24
第十二分署長	藤井 伊達		2	1	24
第十三分署長	阿部 博道		1	1	12
第十四分署長	梶原 義		1	1	12
計		2	24	10	310

着任ごあいさつ



第1分署長
消防司令補
宮本 静雄

4月1日、八幡浜地区広域消防業務開始に伴いまして第1分署勤務を命ぜられ未知の土地に対する不安と又、新しい任務についての抱負

などを考えながら八幡浜の本署から転動して参りました。

消防業務推進の手始めとしては、各部落の名前や人家の形態を憶えることが先決です。さっそく、管内を一巡してみました。

碧い空、青い海、きれいな空気等、都会の人たちが見ればうらやむ程の自然がいっぱいです。私も分署員は、この素晴らしい環境の下で仕事ができますことを非常にうれしく思っております。

地域住民の生命、身体、財産を災害から守ることが消防の任務です。分署員一同は更に認識を新たにして業務に取り組みたいと決意しておりますのでご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

また、消防業務につきまして、お気付きの点やご希望等がございましたらご遠慮なくご指摘頂きまして住みよい安全な町づくりに微力を尽くしたいと思っております。「敬礼」

国民年金の知識



国民年金保険料の納め忘れはありませんか

三月までの国民年金保険料は、もう納めましたか。まだ、納めていない方は早く納めましょう。

厚生年金の加入や、やめる手続きは会社でおこなってください。国民年金は、本人が手続きしなければなりません。二十歳から五十九歳までの人で、会社を退職した時は、国民年金に加入する手続きを年金係で行ってください。

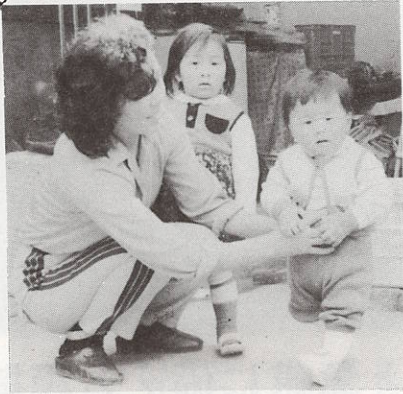
国民年金の加入手続きはすみましたか

厚生年金の加入や、やめる手続きは会社でおこなってください。国民年金は、本人が手続きしなければなりません。二十歳から五十九歳までの人で、会社を退職した時は、国民年金に加入する手続きを年金係で行ってください。

こんにちは 1歳児

小池 智ちゃん (男)

58年4月19日生



三崎(赤坂)小池久光さんの長男

待望の男児、姉の藍ちゃんとけんかばかり。やんちゃで困ります。たくましく育ってほしい。(母・美佐子さん)

国民年金に加入しますと、今まで加入していた厚生年金などとながって、老後にそれぞれの制度から老齢(通算老齢)年金がうけられます。

もし、加入しないしていると、年金がうけられなくなるばかりか、掛けた保険金も掛け捨てとなったりするなど、一生後悔することになります。

ぜひ、国民年金に加入して、あなたの老後をより安定したものにしてください。奥さんも、国民年金に加入していなければ、一緒に手続き

をしてください。加入手続きは、国民年金係で行ってください。

☎1111内線34



雑感

米軍へり 突如飛来—高浦

四月五日、沖縄駐留米軍の輸送ヘリが演習参加の帰路、突如高浦の堀田建設三崎支店の敷地内に燃料不足のため不時着。午後六時のテレビ報道で知って、ビックリ。

西宇和郡地方では、数年前に保内小に三機の米軍ヘリが飛来して、二度目。この時は、「他山の石」と傍観を極め込んでいた町

もあけておられず、マイの毛は枯れてしまい、息もできなくなつて、婆やんは泡をふいて気絶してしまつたがと。

上の屁ひりべえが鼻をのぼり向けていたんだと、赤坂の屁ひりべえが山からもんてびっくり。婆やんに訳を聞いて、ポウの鼻まで走り出て見渡すと、上の屁ひりべえは大西の平落の辺りを歩いておつた。

「おのれ」と赤坂の屁ひりべえは、家から何十貫もある石白をかついで来て、ポウの鼻に据え、白にツベを当て、禰を横ちよにずらして、ねらいさだめて、力いっぱいぶつ放したがと。

そのがいなこと、がいなこと。がいなを千べんつけたほどがいなかつたがと。

何十貫もある白は、ロケットみたいに飛んで上の屁ひりべえに直撃。婆やんの仇を討つたがと。

民も多かつたハズ。この再度の飛来当時、新聞報道等では、米ソ再超大国が、太平洋、大西洋でそれぞれ戦術核模擬演習を大規模に実施中とか。

物騒この上ない話。この平和な日本、再び戦争の惨禍を繰り返さないでと願うやるせなさ、この現実。

もし、米ソが戦争にでも突入したらと考えると、飯がのどに通らぬと考える人は、いないのだろうか。

あれは確か、新聞かテレビか忘れたが、どこかの住職がタコ壺ならぬ核シェルターを設置したとか。

「そこまでは考えぬ」という人が、正常なのかは、さて、どなたが判断するか。

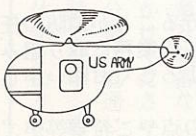
我惟う由に我有り、そこが問題だ

あ、太平なり 日本。

好気心旺盛な子供や青年たち。見学に出かけた人もかなり大勢であつたとか。

町民の不安や好奇心な目をよそに、翌六日の午後三時にやつと離陸。

なにとはもあれ、一件落着と考えるのが良いのか。又は...



郷土の民話

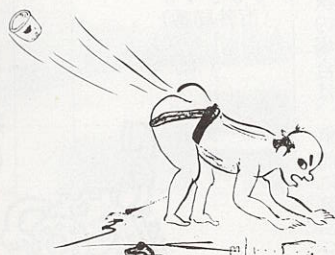
17 屁ひりべえのはなし

むかし、上と赤坂にがいな屁ひりべえがおつたがと。

村の人たちは、上の屁ひりべえと赤坂の屁ひりべえ、屁のひりやいこをしたらどっちが勝つか評判しておつたがと。

ある日、上の屁ひりべえが赤坂の屁ひりべえの家に来て、屁のひりやいこをしようと思つたが、赤坂の屁ひりべえは山へ行つて、婆やん一人が留守番しておつたがと。

上の屁ひりべえは腹を立て、「折角今日は勝負しようと思つたのに...ええい胸くそわり



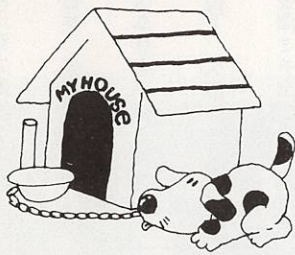
犬は正しく飼いましょう

登録 と 注射

昭和59年度前期畜犬登録及び 狂犬病予防注射日程表

月日	場所	時間
5月24日(木)	名取(学校の下)	10:00~10:20
	釜木(道路の終点)	10:30~10:50
	平磯(農協前)	11:00~11:10
	二名津(公民館前広場)	11:20~11:50
	松(農協前)	13:20~13:40
	明神(公民館前)	13:50~14:00
5月25日(金)	三崎(町民会館前)	14:10~15:00
	井野浦(農協倉庫前)	10:00~10:10
	大佐田(農協前)	10:15~10:25
	佐田(公民館前広場)	10:30~10:40
	高浦(公民館前)	10:45~11:05
	正野(長浜地区定期便終点場所)	13:20~13:30
	正野(公民館入口県道)	13:40~13:50
	正野(野坂神社)	14:00~14:10
	串(診療所前)	14:20~14:30
	与修(農協前)	14:40~14:50
5月25日(金)	サザエバヤ(新道路支線入口)	15:05~15:15
	三崎(赤坂農協倉庫前)	11:10~11:40

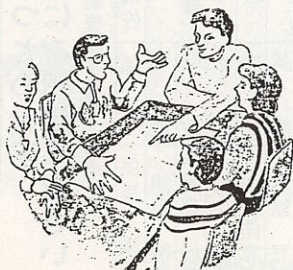
不用犬買上げ日



5月11日(金) 8:30
 6月8日(金))
 7月13日(金) 10:00

町役場前

コミュニティづくりで明るいまちづくり



追伸、この広報は、今回より、遠く南米の地に勇躍、開拓の途につかれた移住者の方々へ、送付し、三崎町の近況をお知らせすることにいたしました。

部落の皆さん

よろしくお願ひします

昭和59年度 区長・常会長名簿 (昭和59年4月1日現在)

部落名	戸数	氏名	部落名	戸数	氏名
三崎	547	松本俊雄	佐田	36	山本才
須賀	111	浦田武尚	大佐田	58	向井石夫
中村	52	土居毅	井野浦	73	塩崎重成
札場	71	磯崎茂文	与修	138	加藤重蔵
上	78	三好一雄	串	172	林誠一
杉山	58	杉山陽三郎	正野	192	松下寅之助
中西	45	川中道雄	二名津	225	石井巽
大西	25	西川明良	明神	58	川本一男
赤坂	26	山本斉	松	112	木村信行
川之元	18	山下留吉	名取	155	西谷源治
中尾	34	川内富蔵	釜木	74	阿部春雄
サザエバヤ	17	岩本伊豫一	平磯	30	河野傳雄
灘	12	大岩重良			
高浦	56	清水正久	合計	1,926	(戸数は3月31日現在)



人権 法律相談所開設のお知らせ

隣近所とのめめごと・借地・借家の問題・人権侵害など、日常生活の中でいろいろな悩みごとでお困りの方は、気軽においでください。

相談は無料で、秘密は固く守ります。

とき 昭和五十九年五月九日(水)
 午前十時から午後三時まで

ところ 三崎町民会館二階和室

相談員 三崎町人権擁護委員 法務局職員
 主催 松山地方法務局八幡浜支局
 八幡浜及び三崎町人権擁護推進協議会

憲法週間 五月一日〜七日

五月三日の憲法記念日を中心に、五月一日から七日までの一週間は憲法週間です。日本国憲法は「基本的人権の尊重」を基本原則の一つとしています。

この基本的人権とは「われわれ人間が人間として生きていくためにもっている最も大切な権利」です。

最近の社会情勢から見ると、憲法が保障する人権は、残念ながら正しく認識されているとはいえない状態です。自己の権利、利益のみを主張し、他人の立場を認めないために起る問題が見うけられます。

もう一度憲法の精神を十分に理解し、まず相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくるよう心がけましょう。

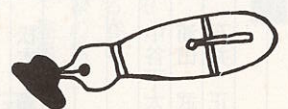
皆さんのなかで人権を侵されたり、侵されそうになった方は、お近くの人権擁護委員、又は法務局あるいはその支局にお気軽に相談下さい。

なお、この週間に次の日程で無料法律相談所が開設されます。

とき 昭和五十九年五月二日(水)
 午前十時から午後三時まで
 ところ 松山地方裁判所八幡浜支部
 (八幡浜市裁判所通り)

相談員 弁護士 弁護士
 主催 愛媛弁護士会八幡浜支部
 後援 松山地方家庭裁判所八幡浜支部
 八幡浜簡易裁判所

編集室 だより



今回、新企画で広報「みさき」を編集することになりました。読者のご意見、ご希望等がございましたら、総務課企画係(内線22番)へご一報ください。

次回以降「あの頃、あの時」や「わが愛する故郷」のタイトルで、皆様方のご愛蔵の写真を掲載する企画でいます。往時の風景、民俗、記念すべき行事やスナップ写真等の収蔵品をこの際、是非、広報に希望の方は、ご連絡ください。

保 健 だ よ り

昭和59年度一検診計画 (予定)

	実施月日	実施場所	実施月日	実施場所
健康診断	5月21日	平磯・釜木	11月15日	正野・中
	5月28日	三崎	16日	正野・与修
	30日	サザエバヤ・名取		
	31日	松・明神		
	6月21日	高浦・井野浦		
	22日	大佐田・佐田		
胃がん検診	7月3日	井野浦・正野	7月31日	二名津
	4日	大佐田・三崎	8月1日	〃
	5日	大佐田・三崎	2日	〃
	6日	中・三崎	3日	〃
	7日	中・三崎	4日	〃
婦人がん検診	6月4日	二名津		
	5日	〃		
	6日	中		
	7日	三崎		
結核検診	5月16日	名取・二名津・明神・松		
	17日	三崎・大佐田・正野・中・与修		
	18日	三崎		

※日程が変更される場合があります。
 ※健康診断と併せて結核検診も実施。

年に一度は検診を受けて
 安心して働きましょう

健やかなご成長をお祈り
 します。(出生)

よろこびとかなしみ
 (一月一日)
 (三月三十一日受付)
 お二人のご多幸をお祈り
 します。(結婚)

謹んでご冥福をお祈り
 いたします。(死亡)

婦人夜間ダイヤル相談

松山 0899 (41)3490
 無料

午後6時～午後9時(日曜日・祝日を除く)

婦人のどんな悩みごとにも応じます。

一人で悩まず、お気軽に

夜間ダイヤルの利用を!!

愛媛県婦人保護対策協議会

(愛媛県婦人相談所内) 松山市千舟町7丁目5-5

※総務課主任幹宮本克己が三月三十一日付で退職しました。

職員体制のおしらせ

今後とも住民奉仕につとめます
 何事もお気軽にご相談ください

四月一日付で次のように人事異動を行いました。

所 属	課 長	課長補佐	係 長	係 長・課長
総務課	未廣 稔	宮脇 建二	浦田 敏勝	
出納室	竹内 勤	池上 正克	山本佳志子	
税務課	橋本昭夫 阿部金太郎	池上 正克	菅原 五郎	
住民課	中村 千壽	近堂 純司	山本新一	
福祉課	小林 文夫		山内弘信	
生活環境課	木原 敬明	田村 善輝	宮脇 昭次	
建設課	加藤 宗義	木廣 豊	山口 庄市	
国土調査課	宮成 道和	松本 満弘	山下 博	
産業課	濱井 忠	宇都宮勝男	阿部 一寿	
三崎保育園			浦田 和江	
三崎診療所	辻谷重兵衛 中野 長俊	五島 義長 都築 敏男	宮脇 満久	
二名津診療所	矢田部 勤	居村 徳博		
申診療所	大谷 治彦	木下 精一		
出張所				
教育委員会	川口時治郎		中谷平太郎	
事務委員会			浦田 武尚	
農業委員会			石井 正規	
議 会	上居 勲	中村 康宏		